

誰もが誰かのサンタになれる。



H₂Oサンタ

チャリティー活動報告



一般財団法人H2Oサンタ
代表理事 荒木直也

親と離れて暮らしている 約42,000人のこどもたち

H2Oサンタは、こどもを取り巻く問題の現状把握のため、定期的にこども支援の現場を訪ね、専門家や社会貢献団体の取材を行っています。今回は里親制度の啓発と里親支援を行っている認定NPO法人日本こども支援協会での現場の生の声を伺いました。

取材・レポート：H2Oサンタ事務局長 外間孝次



ご存じですか。日本には親と離れて暮らしているこどもたちが約42,000人(厚生労働省『社会的養育の推進に向けて』令和4年3月31日より)います。親と暮らせない主な理由は、親の病気や経済的な事情で養育が困難であったり、虐待で一時保護されていたりと様々ですが、そのような環境下にある多くのこどもは、“愛情”と適切な“養育環境”が不足している状態にあります。では、そんなこどもたちはどこで暮らしているのでしょうか。

欧米では、こどもは家庭養育が前提で85%が里親のもとやグループホームなど

の家庭的な環境で養育されています。一方、日本は、約80%が多人数で共同生活する乳児院や児童養護施設などの施設で養育されています。近年、日本でも家庭的な環境で養育できるよう「里親制度の普及」や「小規模グループホームの設置」が推進されています。なぜ「里親」が必要なのか、「里親」とはどんな役割なのかを認定NPO法人日本こども支援協会代表理事 岩朝しのぶさんに伺いました。

値段

“推し活に月〇〇円！ユニバで買うお土産は〇〇円！1日のランチ代は〇〇円！”
物やサービスを手に入れるためのお金の使い方は、誰もがいつも考えるテーマですね。
児童養護施設で暮らす8歳の女の子が、週末里親の方と金曜日の夕方に初めて会ったときに言ったのは、「わたしのためにいくら使ってくれるの？」というひと言でした。週末里親として自宅に受け入れ、家庭的な暮らしを体験してもらおうと、晩ごはんのバーベキューの計画を話したときにそう言われ、里親の方は驚きのあまり、うまく返事ができなかったそうです。翌日、その子と一緒に買物に行っても「いくら使ってくれるの？」と言うばかりで、親戚のこどもたちと遊ぶときには、おしゃべりをするものの、大人とはほとんど会話をしないまま、日曜日の夜に施設に帰っていったそうです。後日、施設の職員の方から聞いた話では、母親の再婚相手で、その子の新しい父親から「お前に使う金はない」と言われた経緯で、施設で暮らすことになったのだそうです。

「いくら使ってくれるの?」、この言葉は「わたしのためにお金を使ってくれる大人は、わたしを邪魔もの扱いしない人だから安心できる」という8歳の心の声に聞こえます。彼女の大人への不信感を和らげるために何をしてあげればよいのか。時間をかけて周りの大人が話を聞き、すべてを受け入れ続けることしかないのかもしれない。

H2Oサンタは、自分の力ではどうにもできないことを強いられているこどもがいることをたくさんの方に知っていただき、支援につなげる活動を行っています。



一般財団法人H2Oサンタ
事務局長 外間孝次

暴力や貧困が原因で、 当たり前の日常を知らなかったこども



こどもが大好きな岩朝しのぶさん。不妊治療中に親と暮らせないこどもの実情を知り、自身が「養育里親」となりました。それをきっかけに「里親が増えれば、多くのこどもたちが幸せに暮らせる」と感じ、現在の活動をスタートしました。

認定NPO法人日本こども支援協会 代表理事 岩朝しのぶさん

●生きづらい人生を歩んできたこどもたち

岩朝さんは里親になったら「テーマパークに行こうかな」「ケーキを焼こうかな」と、こどもと一緒に楽しい時間を過ごすイメージを膨らませていました。ところが、初めて5歳の「里子」を迎え入れたとき、その考えが一変しました。夕食の買物に出かけて、その子に「何が食べたい？」とたずねても答えてくれません。ハンバーグを作っても食べてくれません。ある日、「これまでお家で何を食べていたの？」と聞くと、「お汁ごはん（お味噌汁にごはんを入れたもの）」と自慢げに話してくれました。毎日お汁ごはんだけを、自分で食べていたのだそうです。ハンバーグも、カレーも食べたことがなかったから、答えられなかったのです。そんな実態を知り、ショックを受けると同時に、こどもが必要なのは特別な体験ではな

く、当たり前と思うような日常なのだと思感したそうです。

●愛情を感じることで心身が安定

不適切な環境から保護されたこどもたちは、自分を守るために暴力的になったり、自暴自棄だったりします。そこで「自分だけをしっかりと見てくれる大人」の存在である里親家庭が重要になります。愛情に包まれて育てられると、こどもは心身が安定し、勉強や様々なことに興味を持つそうです。大人になっても、里親家庭が帰る場所となり、その後の人生に良い影響を与えます。

不適切な養育

意欲の低下

脳へのダメージ

自己肯定感の低下

精神的・経済的な孤立

家庭で愛される経験

意欲の向上

自尊心の回復

自己肯定感の向上

精神的・経済的な自立

里親の愛情と家庭の温かさが こどもの心身を育みます



●家庭的な温かい環境で生活体験を

里親制度は、大きく分けてふたつあります。ひとつは戸籍上の実子となる「特別養子縁組里親」、もうひとつは一定期間こどもと一緒に暮らす「養育里親」です。一般的に「里親」というと、「特別養子縁組里親」のイメージがありますが日本では「里親」の約90%が「養育里親」です。また、夏休みや年末年始、週末などに、家庭的な生活を提供する「季節・週末里親」という制度もあります。里親が増えると、こどもにとって最善の状況が選びやすくなるため、日本こども支援協会では、里親制度の啓発や里親の支援を行っています。しかし、将来的には虐待などの理由で親と暮らせないこどもがいなくなり、里親が必要とされない社会を目指して活動をされています。

●里親同士が共感し合える オンラインサロンを開催

里親家庭は、特有の子育ての悩みを抱えていることが少なくありませんが相談できる人が身近にいないケースがほとんどです。安心して里親を続けられるよう、体験や思いを共有できるオンラインサロンを毎月開催し、里親のサポートも行っています。



興味がある方はぜひ、認定NPO法人日本こども支援協会のホームページをご覧ください。



こどもが育つ環境は、実の親、乳児院や児童養護施設、里親などいろいろなケースがありますが、こども自身が一番安全・安心を感じる環境で生活できることが何より大切と感じました。

チャリティーの輪が広がっています。

チャリティートークイベントやNPOフェスティバルの開催、ロハスフェスタ®万博への出展など定期的なイベントを通して、社会貢献団体と地域のみなさまをつないでいます。

土曜日の午後はH2Oサンタ チャリティートークイベント

開催：2023年4月～10月
会場：阪急うめだ本店9階 祝祭広場

チャリティートークイベントとは？

土曜の午後に社会貢献団体のスタッフをお招きし、インタビュー形式で活動現場のリアルをお伝えするイベントです。



聴覚障害がある子どもたちを支援する、NPO法人サイレントボイス代表 尾中友哉さんが初登壇。手話があるとどれだけ言葉が伝わるか、手話の表現のよもやま話などもお話しいただきました。

子どもを取り巻く社会課題やその解決に取り組む社会貢献団体の活動を、多くの方に知っていただくきっかけとして、毎週土曜日の午後に阪急うめだ本店9階祝祭広場の階段下ステージで開催。毎週ひとつの社会貢献団体のスタッフをお招きし、インタビュー形式で活動をお伝えしています。多い時には約400人のお客様が座られている大階段。そのほとんどは、たまたまその時間に居合わせた方々です。初めて聞く話に耳を傾けうなずい

てくださる方や、終了後に駆け寄って「頑張ってください」とお声がけくださる方もいらっしゃいます。「以前チャリティーガイドで見て興味があったので、お話が聞いて良かったです」と、興味を持ってわざわざご来場くださる方も増えてきました。ぜひ、お気軽に会場にお越しいただき、様々な団体の活動に触れていただくと嬉しいです。

レポート:H2Oサンタ事務局 梅田 潔



- 4/ 1 NPO法人あっとオーティズム (自閉症の理解促進のための啓発活動)
- 4/ 8 NPO法人しぶたね (病気のこどものきょうだい支援)
- 4/15 一般社団法人ニュールック [new-look] (高校を中退した若者の支援)
- 4/22 NPO法人西淀川子どもセンター (こどもの食事・教育支援)
- 5/ 6 社会福祉法人日本ライトハウス (盲導犬の育成、無償貸与)
- 5/13 NPO法人弱視の子どもたちに絵本を (視覚障害のこどもたちの支援)
- 5/20 公益社団法人アジア協会アジア友の会 (きれいな水がないアジア地域へ井戸を提供)
- 5/27 NPO法人オーシャンゲート ジャパン (障害があるこどもたちも楽しめるダイビング体験の提供)
- 6/ 3 認定NPO法人ジャパンハート (アジアの医療の届かないところに医療を届ける活動)
- 6/10 NPO法人西成チャイルド・ケア・センター (こども食堂を通じた地域のつながり作り)
- 6/17 認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (貧困や差別からこどもを自由にする活動)
- 6/24 認定NPO法人ノーベル (訪問型病児保育で親子を支援)
- 7/ 1 公益財団法人関西盲導犬協会 (盲導犬の育成、無償貸与)
- 7/ 8 あかりバンク [認定NPO法人ノーサイド] (病棟などに手作りの癒やしのあかりを贈る)
- 7/15 NPO法人おおさかこども多文化センター (外国にルーツを持つこどもたちへの教育支援)
- 7/22 認定NPO法人プール・ボランティア (障害児へ水泳の体験を提供)
- 7/29 NPO法人子どもデザイン教室 (児童養護施設のこどもを支援)
- 8/12 NPO法人日本サービスドッグ協会 (引退補助犬の支援)
- 8/19 一般社団法人チャームングケア (病児・障害児のためのショッピングモールを運営)
- 8/26 NPO法人関西こども文化協会 (10代のこどもたちの居場所作り)
- 9/ 2 認定NPO法人ジャパンハート (アジアの医療の届かないところに医療を届ける活動)
- 9/ 9 NPO法人つなげる (多胎児家庭(双子・三つ子など)のつながりを支援)
- 9/16 認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク (小児がんのこどもたちを支援)
- 9/23 認定NPO法人プール・ボランティア (障害児へ水泳の体験を提供)
- 9/30 NPO法人サイレントボイス (聴覚に障害を持つこどもの居場所作り)
- 10/ 7 認定NPO法人日本こども支援協会 (里親制度の啓発・里親支援)
- 10/14 NPO法人弱視の子どもたちに絵本を (視覚障害のこどもたちの支援)
- 10/21 公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所 (里親・養親家庭をさがす活動)
- 10/28 NPO法人あっとすくーる (ひとり親家庭のこどもたちの学習支援)

多様な団体のリアルな声を届けました。

海外での活動が、日本の若手外科医の貴重な経験にもなっています。

こども食堂に通っていた子が、ボランティアとして活動してくれています。

ポルトガル語による絵本の朗読で、海外を身近に感じていただきました。



今後のスケジュールは、H2Oサンタホームページでチェック！みなさまのご来場、お待ちしております。

第17回 NPO フェスティバル

開催:2023年8月2日(水)~7日(月)
会場:阪急うめだ本店9階 祝祭広場

今回は、会場にひと際目を引く直径約7mの巨大ドームが出現(写真上部、紺色の球体)。これは、一般社団法人星つむぎの村(以下、星つむぎの村)が運営する、一度に約50人が楽しめるプラネタリウムです。

星つむぎの村は、長期入院などで星空を見ることができない子どもたちに、星空を届ける活動をしています。その活動を知っていただくきっかけとして、会場にドームを設置し、500円以上のご寄付でプラネタリウムを体験していただきました。事前予約に200人の応募があり、全18回の上映はすべて満席に!

NPO紹介ブースでは、前後半に分けて全14団体をご紹介。クイズラリーを楽しみながらブースをまわるNPOクイズには、2,492人のご参加がありました。社会貢献団体の活動を身近に感じられるワークショップや、7種のおもしろ募金箱など、今回も多く

NPO フェスティバルとは?

世の中にまだ広く知られていない、こども支援に取り組む社会貢献団体の有意義な活動をご紹介します、寄付を募るイベントです。



の方に楽しみながらチャリティーにご参加いただきました。NPOフェスティバルは、夏休みの子どもたちにとって、世の中の問題を知る良い機会にもなっているようです。

レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



第18回NPOフェスティバルは
3月27日(水)~4月1日(月)に開催!
※プラネタリウムの実施は
ございません



報告ブログは
こちら



参加団体の声

一般社団法人星つむぎの村

(闘病中の子どもたちにプラネタリウムで星空を届ける活動)



共同代表 跡部浩一さん(写真左)
共同代表 高橋真理子さん(写真右)

病院や支援学校などへ星空を届けています。遠隔操作で投影する“フライングプラネタリウム”も駆使し、星空をお届けできる場所が増えました。一緒に星を見ることが支援の第一歩になります。遠くに誰かに想いを馳せてみませんか。

NPO 法人コンセント

(児童養護施設や被災地における理美容支援)



稲葉希美さん(写真左)
武島美優さん(写真右)

被災地や児童養護施設などでボランティアカットの活動をしており、訪問施設数は年々増えています。今回は、お子様を対象にしたワークショップや、無料ヘアアレンジを実施しました。子どもたちの、目を輝かせた笑顔が忘れられません。

NPO 法人弱視の子どもたちに絵本を

(視覚障害の子どもたちの支援)



理事 田中加津代さん

触って楽しめる絵本や教材、様々な体験や交流の場を提供しています。NPOフェスティバルでは子どもたちのピアノ演奏など夢の実現や障害の周知の機会を頂戴しました。視覚障害者にもっと気軽に声をかけて、現状を知ってほしいです。

NPO 法人オーシャンゲートジャパン

(障害のある子どもたちも楽しめるダイビング体験の提供)



代表 白杉芳彦さん

障害のある子どもたちに、海の素晴らしさにふれる体験を提供しています。私たちの仲間で開催したフラメンコのイベントで盛り上がり、多くの人が話を聞いてくださったおかげで、活動を広く知っていただくことができました。

レッド・ノーズ・デイ 2023

開催:2023年8月7日(月)<ハナの日>
会場:阪急うめだ本店9階
阪急うめだホール/祝祭広場

認定NPO法人日本クリニックラウン協会主催の、入院中の子どもたちに笑顔を届けるチャリティーイベントです。8月7日(ハナの日)に、阪急うめだ本店9階阪急うめだホールからオンライン配信と、祝祭広場でのリアル会場の同時開催いたしました。全国各地の病院や施設とオンラインでつながり、会場にはキッズクラウンが登場。阪急うめだ本店の従業員も駆けつけ、子どもたちに応援メッセージをお届けしました。



レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



配信画像はこちらから
ご覧いただけます!

イベントレポート

Kobe Love Port・ みなとまつり2023

開催：2023年7月16日(日)・17日(月・祝)
会場：メリケンパーク

神戸最大級の夏祭り『Kobe Love Port・みなとまつり2023』に初めて参加。H2Oサンタ チャリティーガラガラ抽選コーナーを設置しました。阪急阪神百貨店で働く従業員ボランティアも参加され、炎天下の中お手伝いいただきました。抽選には約2,275人が参加し、81,835円のご寄付が集まりました。神戸近辺を中心に活動中の団体をご紹介していたので、ご来場者からもたくさんの共感が集まりました。



レポート:H2Oサンタ事務局 梅田 潔



神戸のイベントに
初参加したよ!
報告ブログは
こちら



ロハスフェスタ®万博 2023 春

開催：2023年4月29日(土・祝)・30日(日)
会場：大阪・万博記念公園 東の広場

“たのしい、かんたん。チャリティーパーク”をテーマに、11回目のブース出展をしました。こども支援に取り組む社会貢献団体のご紹介や、チャリティー缶バッジ作り、おもしろ募金箱を設置。NPOクイズには1,310人がご参加くださいました。「知ることの大切さを感じました。H2Oサンタさんを応援します」とのありがたいお言葉もいただきました。



レポート:H2Oサンタ事務局 中田大三



今回は
2024 春で
会えるよ!
報告ブログは
こちら



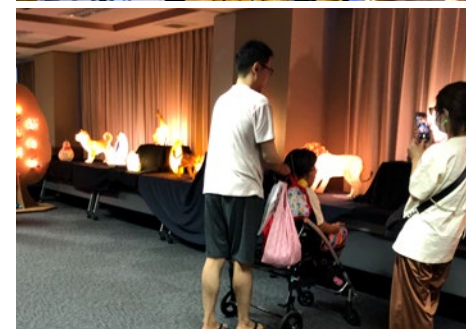
ボランティアレポート

ボランティアが制作した“あかり”が 難病のこどもたちを笑顔に。



小児病棟などに手作りのあたたかい“あかり”を届ける活動をしている、あかりバンク(認定NPO法人ノーサイド)。2022年11月、阪急うめだ本店の従業員ボランティアが、あかりバンク代表で照明デザイナーの橋田裕司さんご指導のもと、星型の“あかり”を制作しました。これらの作品は、NPOフェスティバルを通してあかりバンクとつながった、認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク主催のイベントで展示され、訪れたご家族にプレゼントされ、ご家庭でやさしいあかりを灯しています。

そんなあかりを全国100家族に届けるため、あかりバンクでは“あかり”を制作するボランティアを募集中です。このページ右下の二次元コードからお申し込みください。実は、誰でも意外と簡単に作ることができる手作りのあかり。こどもたちはもちろん、見る人の心を癒やし笑顔に導くあかり作りのボランティアに参加してみませんか?



レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



詳しくは、
あかりバンクの
ホームページを
ご覧ください



地域社会にチャリティーの文化を創造するために。

H2Oサンタの活動をご支援いただいている賛助会員みなさまに、2022年度の活動と、H2Oサンタ設立から10年のあゆみをご報告しました。



長いコロナ禍の影響もあり、2019年以來4年ぶりの対面開催となった今回の活動報告会には、56社84名のみなさまがご参加くださいました。

2012年に活動をスタートし、2022年で10年を迎えたH2Oサンタ。冒頭、代表理事の荒木直也より、これまで支えてくださった賛助会員様に対し感謝の意をお伝えしました。H2Oサンタの活動は、阪急うめだ本店9階祝祭広場にチャリティーガイドを設置し、社会貢献団体の活動をご紹介することから始まりました。現在は、H2Oリテイリンググループのスーパーへの募金箱の設置や野外イベントへの出展など、様々な場所での取り組みや

発信ツールを通し、幅広い活動に進化しています。

人々が集うことで情報を共有し、思いやりの気持ちや他者との結びつきなど、目に見えない要素をネットワーク化することで、社会貢献団体と連携した持続的な子ども支援の仕組み作りを行っています。苦難を強いられている子どもたちの状況や、その解決に取り組む社会貢献団体の現状を知った賛助会員みなさまからは「支援に協力したい」というお声を多数いただきました。合言葉である“誰もが誰かのサンタになれる。”を、今後も地域社会にさらに拡大して参ります。



レポート:H2Oサンタ事務局 外間孝次



基調講演『今、必要な社会貢献』

～過去10年を概観。withコロナ時代の社会貢献活動は?～



こどもを取り巻く現状をはじめ、ボランティア活動がもたらす好循環についてお話しいただきました。

社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長 早瀬 昇 氏

●「自分は孤独だ」と感じる生徒の割合が日本は世界ワーストワン!

国際連合児童基金(ユニセフ)の調査によると、日本の15歳のこどもの約3割が「自分が孤独と感じている」と報告されています。思春期は、未来への不安やいじめに悩みやすい時期。“人と違う=変→排除”“集団=普通”という人間観が同調圧力になり、いじめを生み出し、孤独だと感じる気持ちに大きな影響を与えていると考えられます。さらに、日本のこどもの多くが「社会は変えられない」と感じているとの結果も出ており、現在の日本社会の大きな課題となっています。

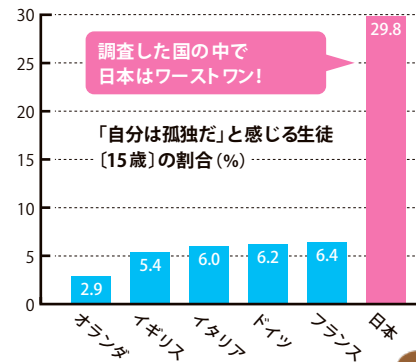


● ボランティア参加で自身も元気に

総務省統計局の『社会生活基本調査』によると、コロナ禍のボランティア活動行動者率(10歳以上人口に占める行動者数の割合)は、調査開始以来の大幅な減少に転じています。しかし、ボランティア活動は前向きな思考を促進したり、死亡率を減少させたりするなどの効果が報告されており、企業が社員に社会参加の機会を提供することは、福利厚生の意味も兼ねています。

ボランティア活動への参加促進は、難しいイメージの払しょくや、具体的な活動情報の提供が重要だと考えられます。

子どもに関わる辛い現状



調査した国の中で日本はワーストワン!

「自分は孤独だ」と感じる生徒(15歳)の割合 (%)

Child poverty in perspective : An overview of child well being in rich countries (unicef 2007)



阪神梅田本店・博多阪急・西宮阪急に、 チャリティーガイドが登場！

社会貢献団体をご紹介し寄付を募るチャリティーガイドを、阪神梅田本店8階・博多阪急地下1階・西宮阪急1階に新設しました。毎月2団体ずつ、子ども支援に取り組む社会貢献団体をご紹介しています。ご紹介団体は、H2O サンタのホームページでお知らせしています。



西宮阪急1階



レポート:H2O サンタ事務局 西方正司

関西スーパー全店に H2O サンタ募金箱設置！



2023年6月13日(火)から、関西スーパー全店にH2O サンタ募金箱と併せて、H2O サンタの活動をご紹介する『チャリティー活動報告(冊子)』を設置。既に、みなさまからたくさんのご支援をいただいております。



掲載しましたご寄付は、子ども支援活動に役立てさせていただきます。

寄付額合計 7,192,838円

チャリティーガイドやイベント、web募金で集まった寄付金を、52 団体へ寄付いたしました。
みなさまのご協力ありがとうございました。

H2Oサンタのブログにて、毎月の寄付報告を掲載しています。
詳しくは、H2Oサンタホームページからご覧ください。



寄付先団体からのお声



みなさまからのご寄付で授業料負担をまかない、2023年度は、延べ80名近いひとり親家庭の子どもたちが通っています。

NPO法人あつとすくーる
(ひとり親家庭の子どもたちの学習支援)
代表理事 渡 剛さん

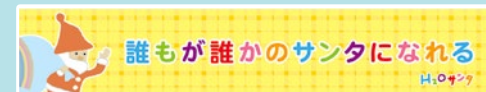


カンボジアに、年間150人の小児がん患者の受け入れを可能とする2つ目の新病院を建設するために、ご寄付を使用させていただきます。

認定NPO法人ジャパンハート
(アジアの医療の届かないところに医療を届ける活動)
代表理事 吉岡春菜さん

オンラインNPOクイズ

3問のクイズに全問正解し、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で毎月2名様に、『H2O サンタオリジナルタオル』をプレゼント



クイズはこちらから



◎応募締切日:2024年3月～5月の毎月月末
◎当選者発表:プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



一般財団法人H2Oサンタは、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体です。
こども支援をテーマに、地域社会にチャリティーの文化を創造することを目的とした
4つの活動を行っています。

1 社会貢献団体と連携した啓発・募金活動

展示会やイベントで様々な団体を紹介し、寄付を募る活動を行っています。

2 寄付のためのイベント

寄付金を集めるための販売会・展覧会・ダンスイベントなどを開催しています。

3 ボランティアの仲介

ボランティア活動に参加していただける方々と社会貢献団体をつないでいます。

4 調査・発表

こどもたちに関連する諸問題を調査し、本誌などで紹介しています。

H2Oリテイリンググループ

百貨店、スーパーマーケットなど小売業を核とし、
地域のみなさまの生活に貢献する生活総合産業グループです。



賛助会員ご加入のお願い

H2Oサンタの活動を継続するためには、みなさまからのご支援が必要です。
活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員へのご加入よろしくお願いたします。

【会員種別】

法人会員	1口	50,000円
個人会員	1口	5,000円

【年会費】

右記の
二次元コードから
お申込みください。



法人会員・個人会員様一覧



一般財団法人H2Oサンタ事務局
TEL:06-6313-9304 (10:00~18:00) ※火・日曜以外
Mail:h2osanta@h2o-retailing.co.jp

